

令和5年7月11日

第1回 総合教育会議

～鈴鹿市教育大綱の策定について～

政策経営部総合政策課
教育委員会事務局

1 鈴鹿市の教育施策の主な取組



【鈴鹿市総合計画2023】

■前期基本計画期間（2016～2019）

2016年度

- ◆通学区域の弾力化による就学開始
- ◆中学校に不登校対策教育支援員の派遣の開始

2017年度

- ◆公立小中学校(40校)の普通教室等空調整備事業施工完了
- ◆JFAこころのプロジェクト夢先生事業開始
- ◆「不登校対策初期対応マニュアル」の作成

2018年度

- ◆スクールサポートスタッフ配置開始
- ◆天栄中学校区, 鈴峰中学校区の8小学校で3年生からの英語教育を先行実施
- ◆不登校支援アドバイザーによる学校訪問の開始

2019年度

- ◆教育ICT環境の整備完了
- ◆市内全ての小学校で3年生からの英語教育を先行実施

1 鈴鹿市の教育施策の主な取組



■後期基本計画期間（2020～2023）

2020年度

- ◆新学習指導要領の完全実施開始
- ◆特別支援教育の充実 子ども家庭支援課との連携(トライアングルプロジェクト・すずっこスクエア)
- ◆1人1台端末を活用したキャリアパスポートの作成
- ◆日本語教育ガイドラインの作成

2021年度

- ◆GIGAスクール構想推進事業の整備完了
- ◆市内全小中学校でオンライン授業の開始
- ◆鈴鹿市人権教育基本方針の改正
- ◆石薬師小学校屋内運動場の完成

2022年度

- ◆学校給食費の公会計化開始
- ◆小中学校のトイレに生理用品を設置
- ◆「ほっとルーム」の開設(3校)
- ◆大木中学校新校舎の完成

2023年度

- ◆部活動地域移行準備室を設置
- ◆「ほっとルーム」の拡充(10校)
- ◆通級指導教室における巡回指導, アウトリーチの取組推進

2 国の動向(新たな教育振興基本計画)



■国のコンセプトは

① 持続可能な社会の創り手の育成

- ◆これからの子どもたちには予測困難な社会の中で生き抜く力が必要
- 社会の持続的な発展に向けて主体的に課題を解決する力
- あらゆる他者を価値ある存在として尊重し，多様な他者と協働して未来を切り拓く力

② ウェルビーイング※の向上

- ◆個人及び社会全体のウェルビーイングの重視
- 多様性を認め合う共生社会，全ての人の可能性が引き出される教育

※ウェルビーイング(Well-being)

身体的，精神的，社会的に良い状態であること。短期的な幸福のみならず，生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

3 策定にあたって



■社会背景と求められる教育課題

- ① 少子高齢化, 児童生徒数の減少によって, 「協働的に学ぶ, 多様な考えに触れる」機会が減少する。
- ② 急激に進む社会の変化, 予測困難な将来に対応するための新たな教育を展開する必要がある。
- ③ 家庭や地域は子どもたちの成長を支える場であり, 更に学校との連携・協働を推進する必要がある。
- ④ 認知能力の土台となる**非認知能力※**を育成することにも今まで以上に注力する必要がある。
- ⑤ 外国人児童生徒の割合が高まる中で, 多様性を認め合う視点が一層重要となる。

※非認知能力

意欲, 協調性, やり抜く力, 自己肯定感, 計画性, 自制心, 創造性, コミュニケーション能力といった測定できない個人の特性による能力

3 策定にあたって



■教育振興基本計画策定のためのアンケート実施

(1)調査対象者と対象者数

	対 象	人 数
①	市内小学校5年生の保護者(児童)	1,780人
②	市内中学校2年生の保護者(生徒)	1,818人
③	各学校の正規教諭	1,058人
④	各幼稚園の正規教諭	34人
⑤	学校運営協議会委員	414人

(2)調査時期 令和5年1月30日(月)～2月24日(金)

(3)対象者数 5,104人(対象者には属性の重複あり)

(4)回答数(率) 1,535人(30.1%)

(5)アンケート回答方法

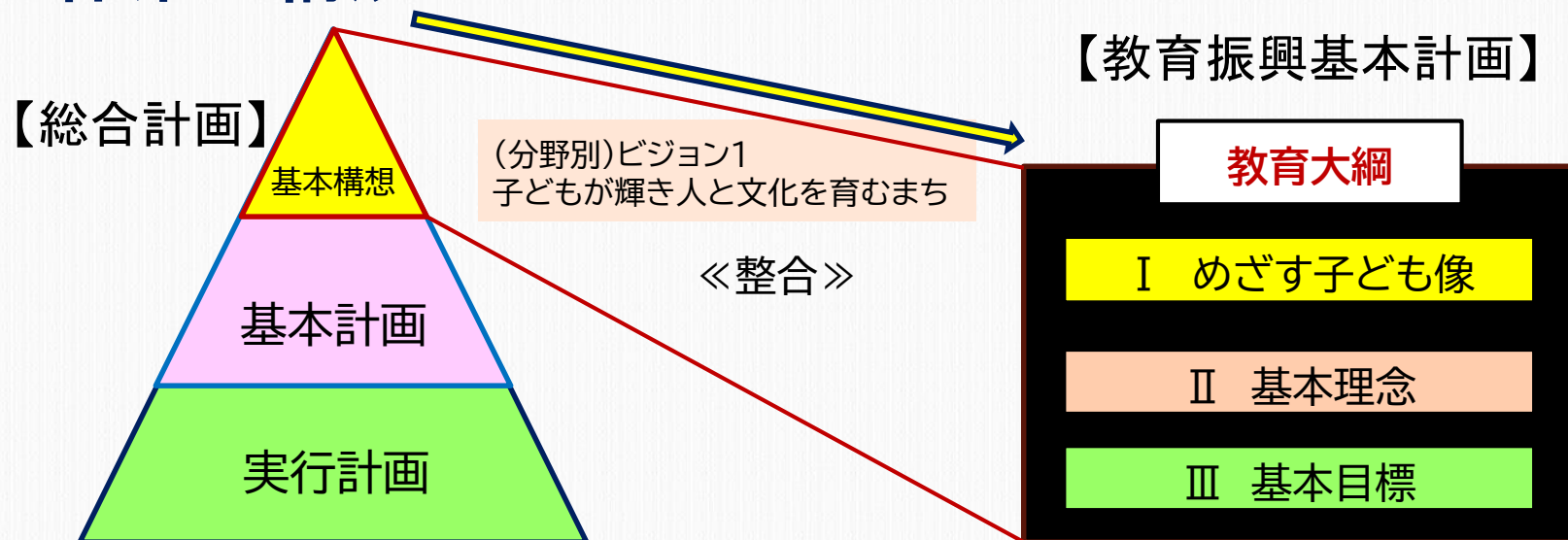
①インターネットによる回答 回答数(率) 1,497人(97.5%)

②用紙による回答 回答数(率) 38人(2.5%)

4 総合計画と教育大綱の関係



■体系と構成



分野別ビジョン1（みんなの目標の一つ）＝基本目標の取組成果

■成果指標について

子どもが楽しく安全で安心して学べる環境が整っている

5 教育大綱骨子(案)



I めざす子ども像

人とつながり自ら豊かな未来を切り拓く鈴鹿の子ども

【意図・ねらい】

◆「人とつながり」

- ①高い人権意識をもち、多様な考えを認め合える子どもを育成する。
- ②対話と協働により、様々な課題を解決できる力を育む。

◆「自ら豊かな未来を切り拓く」

- ①自分の可能性を信じ、自己実現に向けて学び続ける力を身に付けさせる。
- ②主体的に社会の形成に参画し、やがて鈴鹿市の持続的な発展を支える人材となってほしい。

5 教育大綱骨子(案)



Ⅱ 基本理念

誰もが輝きウェルビーイングが高まる鈴鹿の教育

【意図・ねらい】

◆「誰もが輝き」

多様な子どもたち誰もが自分らしく安心して学ぶことのできる環境をつくる。

◆「ウェルビーイングが高まる」～家庭、地域とともに～

- ①子どもたちが豊かな人間関係を築けるよう支援する。
- ②一人ひとりが夢の実現に向かって進めるように支援する。

◆そのために鈴鹿市は確かな学力を身に付けさせるとともに、非認知能力の育成をめざす教育を推進する。

5 教育大綱骨子(案)



Ⅲ 基本目標

- (1)教育DXを推進し, **Society5.0※**で活躍する力を育む
教育内容を創造します
- (2)保護者や地域とともにある学校づくりを推進します
- (3)安全で安心できる学びの教育環境を整備します

※Society5.0

サイバー(仮想)空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより, 経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会(狩猟社会, 農耕社会, 工業社会, 情報社会に次ぐ第5次の新たな社会)

5 教育大綱骨子(案)



Ⅲ 基本目標

(1) 教育DXを推進し、 Society5.0で活躍する力を育む教育内容を創造します

【意図・ねらい】

- ◆DXの進展に伴い、新たな教育活動を展開する必要がある。
- ◆非認知能力を育成するとともに、多様なニーズを有する全ての子どもの可能性を引き出す教育を展開する。
- ◆心を動かす体験や文化・芸術活動を通して子どもたちの感性を育むことが必要である。
- ◆人生100年時代を幸せに過ごすために、運動に親しみ健康に対する意識を高めることが必要である。
- ◆ICT機器を活用した教育に対しては重要度も満足度も高い。また、道徳教育など心を育む教育への重要度も高い。(アンケート結果より)

4 教育大綱骨子(案)



Ⅲ 基本目標

(2) 保護者や地域とともにある学校づくりを推進します

【意図・ねらい】

- ◆家庭, 地域, 学校が連携・協働し, とともに子どもたちの成長を支えていきたい。
- ◆「協働型」学校運営協議会の取組を一層推進する。
- ◆地域は子どもたちにとって貴重な教育資源である。地域の良さを学び, 地域住民との交流を深めることで, シビックプライド※を醸成する。

※シビックプライド 市民の地域に対する愛着・誇り

4 教育大綱骨子(案)



Ⅲ 基本目標

(3) 安全で安心できる学びの教育環境を整備します

【意図・ねらい】

- ◆施設の改築・改修, トイレの洋式化, タブレット端末の配備など, 環境整備に力を入れてきた。
- ◆今後も学校施設の整備・維持管理に努め, 安全で安心できる教育環境を整える必要がある。
- ◆少子化が進む中, 協働的な学びや多様な考えに触れる場の確保のために, 学校再編の検討を進める必要がある。

5 有識者からの意見



■須曾野先生より（三重大学教職大学院教授）

- ◆「ウェルビーイング」は重要なキーワード
- ◆新たな発想によるデジタルなメディアの活用とアナログでの力や基礎学力との両面が必要
- ◆Soiety5.0での教育活動の創造はSDGsとSTEAM学習の観点から考えるとよい
- ◆ネット社会だからこそ、情操教育の重視を
- ◆非認知能力の育成は社会に出て仕事をしていく上でも重要

5 有識者からの意見



■瀬戸先生より（三重大学教育学部教授）

- ◆一般の方にも伝わるように、用語の言い換えか注釈をつける工夫を
- ◆外国人児童生徒が多い地域の特徴
→「共生」よりもポジティブな言葉が必要では？
- ◆郷土愛について、もっと意図が伝わるように
- ◆何が不易で何が流行か、鈴鹿市の教育の実態を踏まえながらまとめていくとよい